

# CyanView 社 RCP/RIO 設定ガイド

## 1. はじめに

本設定ガイドは、以下の機器の使用にあたり、トラブルシューティングを目的とした簡略内容となります。

- 1) RCP: マルチカメラ制御パネル(<https://village-island.com/rcp/>)
- 2) RIO: カメラ・レンズ ライブ IP コントローラ

各機能の詳細情報は、CyanView 社のサポート Wiki(英語)も併せてご参照ください。

<https://support.cyanview.com/>

## 2. 接続



- ・ RCP  
電源：12V 200mA(9V~24V)  
の入力電圧に対応。  
POE(Power On Ether)対応

LAN ポート

### ・ RIO

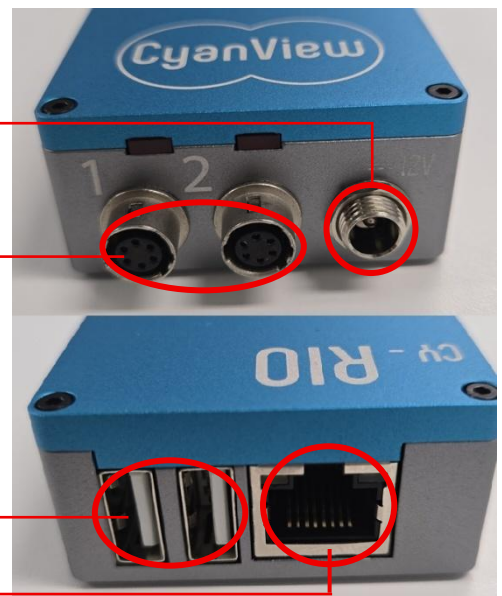
電源：10~24V に対応

\*POE 対応

LANC ポート 1, 2

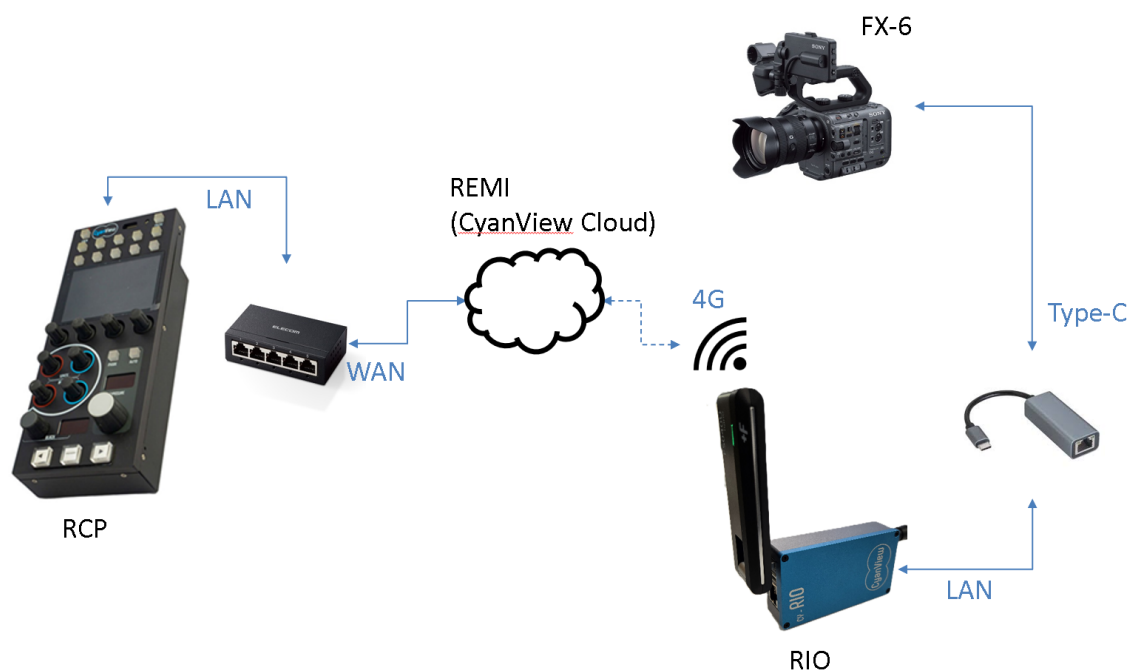
USB ポート

LAN ポート



RCP と RIO は、ローカルネットワーク、または REMI(CyanView クラウド)を経由した外部ネットワークにて接続されます。

以下は、SONY 社 FX6 を RIO と LAN 接続し、RIO の USB に接続された 4G ドングルから RCP と外部ネットワーク経由での接続例です。



“REMI”は、CyanView 社が提供するクラウドプラットフォームです。

“REMI”により、異なる WAN ネットワークに接続された RCP と RIO が、関連付けされ複雑な設定を不要とした外部ネットワークでの遠隔操作が可能となります。

RCP/RIO は設定内容を記憶するため、一度設定を行えば、再度設定しなおす必要はありませんが、正しく接続できない場合は、”3. トラブルシューティング”を参照し、必要に応じて、4, 5の方法にて設定をご確認ください。

### 3. トラブルシューティング(RCP/RIO とカメラ操作ができない場合)

1) RCP/RIO、およびカメラの再起動してみてください。

また起動順番として、カメラ→RIO→RCP の順番にて起動を試してください。

2) 再起動後も操作が行えない場合は、RCP の Web UI を表示し、“REMI”にて RIO と接続されているか、Cloud のアイコンが緑色になっているかご確認ください。

“REMI”の設定については、5の4) “Camera(制御機器の追加) \*RIO を経由した外部ネットワーク(REMI)接続”をご参照ください。

- 3) “REMI”から RIO にアクセスできない場合は、“RIO”を有線 LAN にて PC と直接接続し、RIO の WEB UI が表示されるか、設定内容をご確認ください。  
REMI の Tag 名が、RCP と同一の名称で登録されているかご確認ください。
- 4) RIO が”REMI”上でアクセスできる場合は、カメラとの接続をご確認ください。  
問題の切り分けのため、RCP とカメラを同一のローカルネットワーク接続し、RIO に設定したカメラの設定と同じ内容を RCP にも設定してみて、RIO を経由せず、RCP から直接カメラの操作を行うことが可能かご確認ください。  
RCP からでもカメラ操作が行えない場合は、カメラの IP アドレス、ログイン設定内容が正しいかご確認ください。

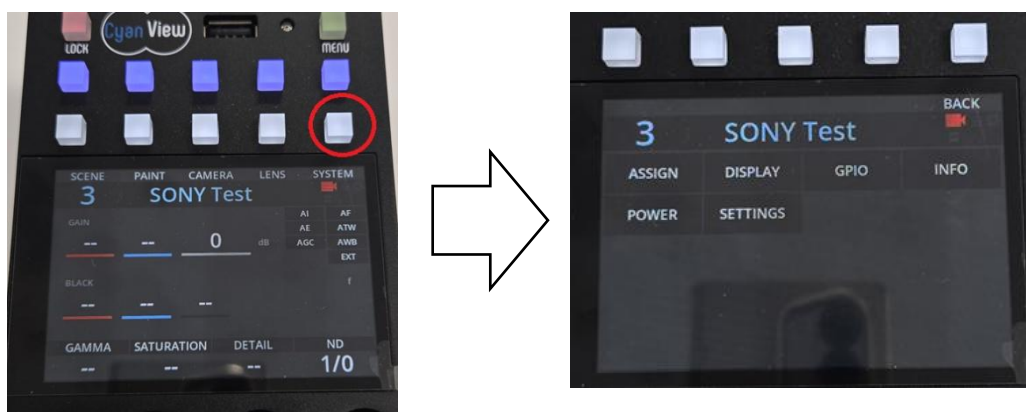
#### 4. IP アドレス表示

RCP/RIO は、WEB ユーザーインターフェースにて設定を行います。

RCP/RIO とともに 1つの LAN ポートに複数の IP アドレスを設定することができます。

RCP/RIO に設定された IP アドレスは、本体から確認が可能です。

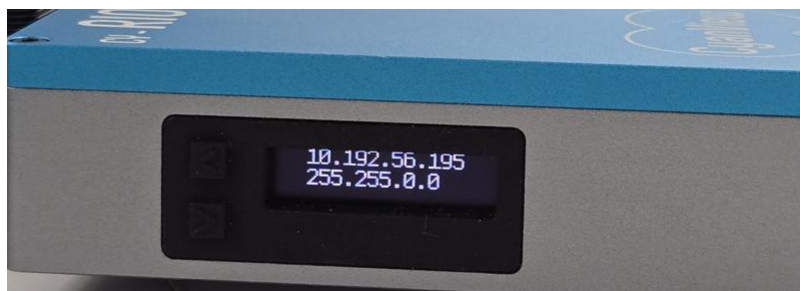
RCP の IP アドレスを確認する場合は、RCP の左下の物理ボタンを押し、表示された設定メニューより、“INFO”ボタンを画面タッチします。



”IP Address”、または”DHCP Address”が表示されます。



RIO は、画面横にある、“◀”▶”ボタンを複数回押すと、IP アドレスが表示されます。



画面表示範囲上、設定された全ての IP アドレスを表示しません。  
本表示は、緊急時の接続用としてお使いください。

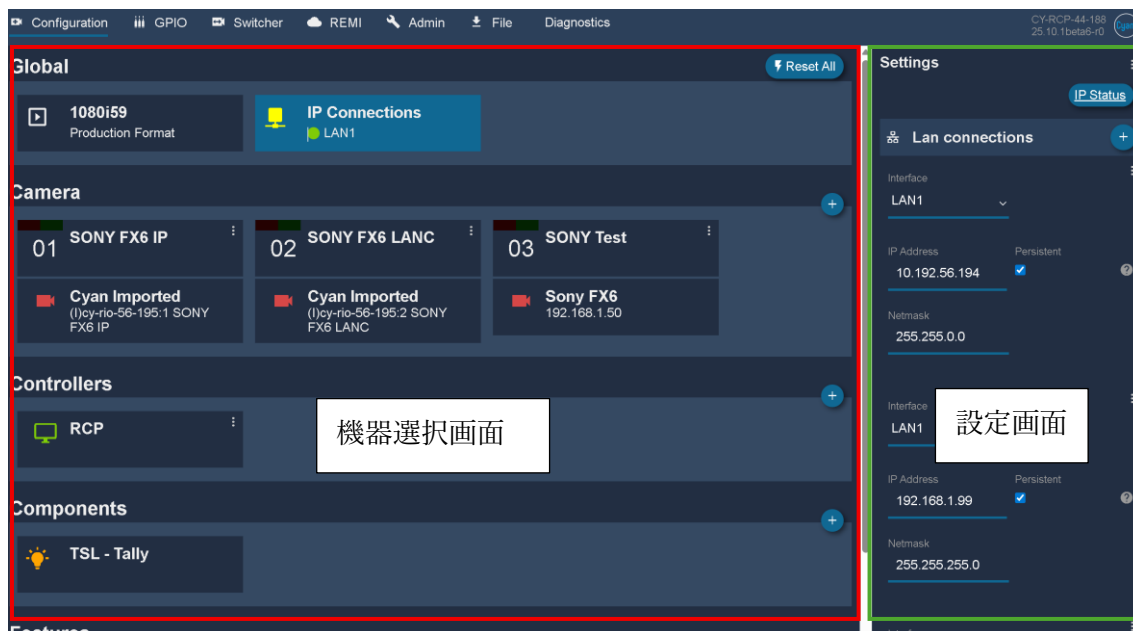
#### 5. WEB ユーザーインターフェース

RCP/RIO と操作用の PC を同一のローカルネットワークに接続します。

\*RIO に関しては、後述の”REMI”にて RCP 経由にて Web UI を表示することも可能です。

PC の Web ブラウザを開き、URL に <http://10.192.56.194> のように RCP/RIO の IP アドレスを入力します。

以下のような Web 画面が表示されます。



Web ユーザーインターフェースは、RCP/RIO とともに同じ構成となります。

左側は、各接続機器の設定画面となり、右側は選択した機器の設定内容が表示されま

す。

機器選択画面では、以下項目ごとにグループになっています。

- ・ Global：制御する機器の解像度設定、及び RCP/RIO の IP アドレスの設定
- ・ Camera：RCP/RIO に接続する外部カメラの設定
- ・ Controllers：複数の RCP を接続する場合に使用します。
- ・ Components：Tally 設定

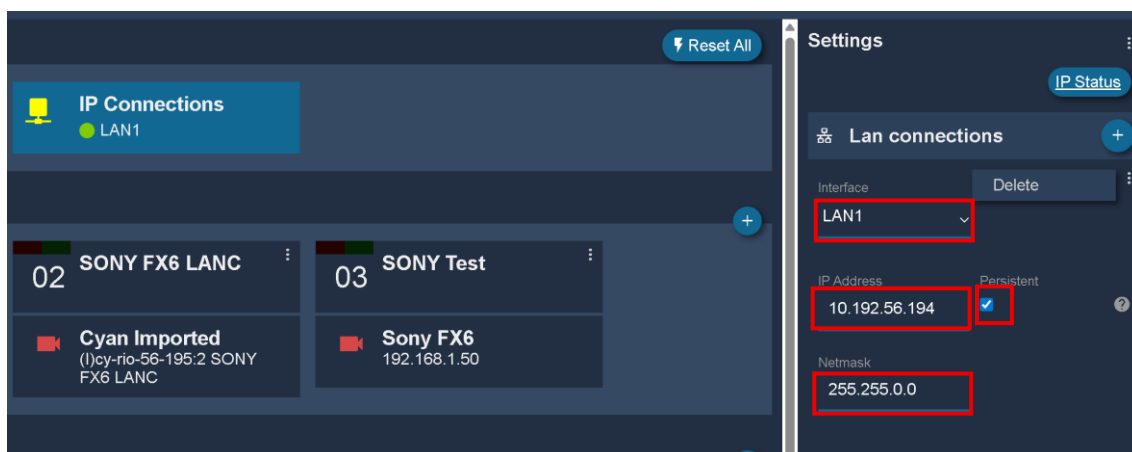
各設定は、入力後、他の項目をクリックすることで自動保存されます。

### 1) IP アドレスの追加

RCP/RIO へ任意の固定 IP アドレスを追加する場合は、“Global”にある”IP Connections”をクリックします。

右の設定画面に設定された固定 IP アドレスが表示されます。新規に IP アドレスを追加する場合は、“Lan Connections”右にある、“+”ボタンをクリックします。追加された項目より

- ・ Interface：“LAN1”を選択
- ・ IP Address：任意の固定 IP アドレスを設定
- ・ Persistent(永続使用)：チェックします。チェックがないと電源 OFF 時にリセットされます。
- ・ Netmask：任意のネットマスクを設定



設定した IP アドレスを削除する場合は、削除したい IP アドレス設定の右にある”…”をクリックし、“Delete”をクリックします。

### 2) Camera(制御機器の追加) \*RCP と同一ネットワークでの接続

“Camera”グループでは、RCP にて制御する機器の設定を行います。

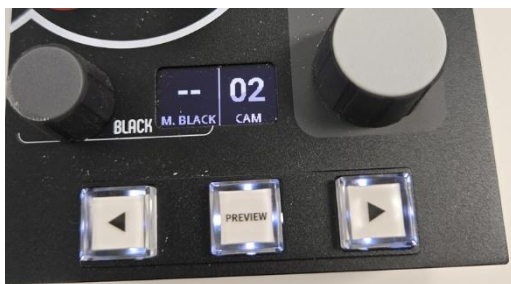
機器は、それぞれ固有の番号を割り当てし、その番号を RCP 本体にて切替るこ

とで、それぞれの機器の操作が行えるようになります。

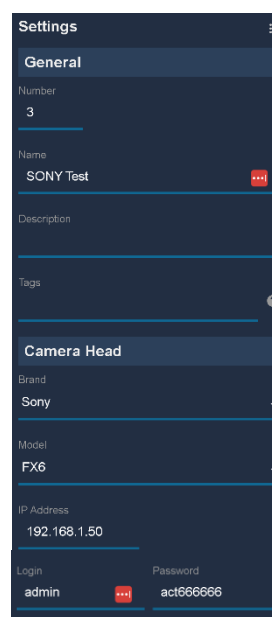
下の画像の例では、“01”にRIOを経由したSONY FX6のLAN接続操作、“02”にRIOを経由したSONY FX6のLANC接続操作、“03”にRCPと同一のネットワークに存在するFX6のLAN接続操作が割り当てられています。



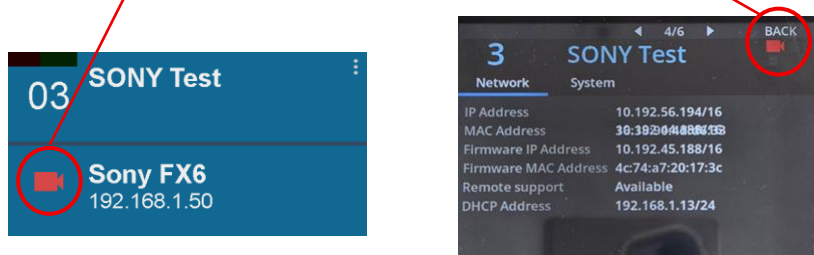
RCP本体の下部の“◀”、“▶”ボタンにより、操作する機器の番号を選択します。以下の場合、“02”が選択されており、上記のCamera設定の場合、“02 SONY FX LANC”が選択されていることとなります。



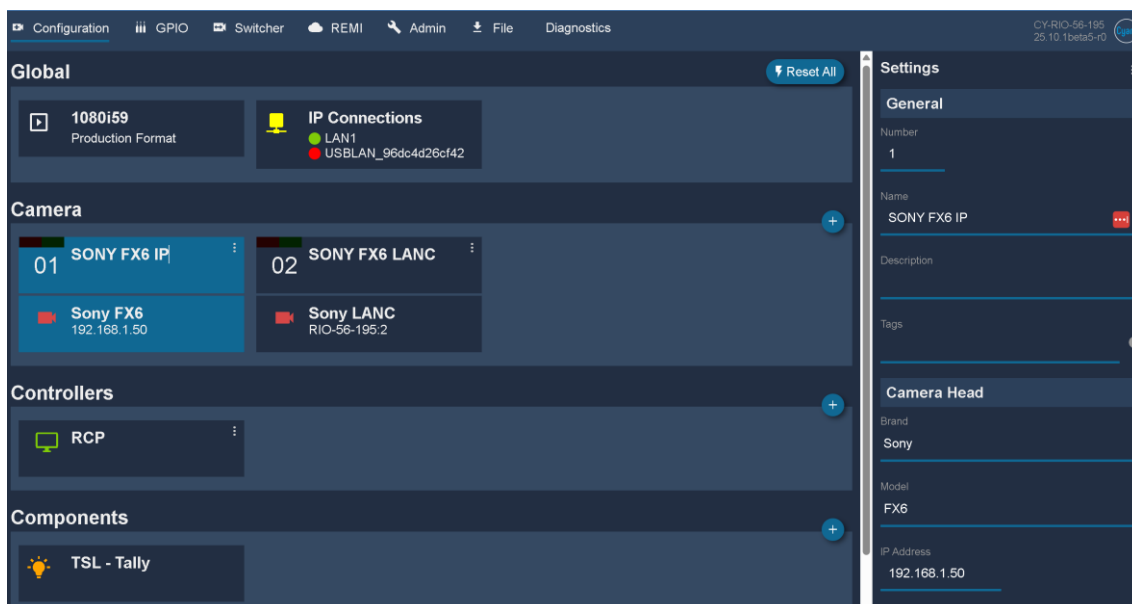
- ・ SONY FX6をローカルネットワーク経由でRCPから操作する設定追加例  
“Camera”グループの右の“+”ボタンを押し、新規追加します。  
“Number”に制御番号を割り当てます。  
“Name”は、任意の名称を記入します。  
必要に応じて“Description(説明)”、“Tag”を記入します。  
“Camera Head”では、接続する機器のメーカーモデルを選択します。  
今回は、FX6をLAN接続するため、“IP Address”と、FX6側で設定されている“Login”、“Password”を入力します。  
自動保存をするため、画面の適当な他の項目をクリックします。



正常に FX6 とネットワーク接続した場合、  
“Camera”、“RCP”の  マークが、赤から  
緑になります。



- 3) Camera(制御機器の追加) \*RIO を経由した外部ネットワーク(REMI)接続  
RIO を使用し、機器の遠隔操作を行う場合は、まず RIO の設定が必要となります。  
RIO を RCP と同じように PC とネットワーク接続し、PC から Web ブラウザにて  
RIO の URL を入力し、Web UI を表示します。  
RIO の Web UI は RCP と変わらない構成になっています。



まず、“Global”グループにて IP アドレスの設定を行います。  
4G ドングルを使用する場合は、事前に 4G ドングルを各メーカーの設定方法を参  
照し、初期設定を行います。

初期設定が完了した 4G ドングルを RIO の USB ポートに差し込み、RIO を起動します。

RIO は、サポートされている 4G ドングルを自動的に認識します。

正常認識された場合、”IP Connections”の項目に、”USBLAN\_xxxxxx”が表示されます。

”IP Connections”設定の、下部にある”Bridge”にて、”LAN1”と”USBLAN\_xxxxxx”、および”Auto Bridge USB Interfaces”にチェックします。



次に、RIO に操作する機器の接続設定を行います。

設定方法は、RCP と同じ手順となります。

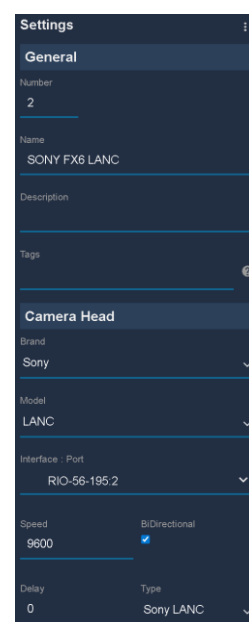
ここでは、SONY FX6 の LANC 接続設定例を記載します。

”General”では、接続する機器の”Number”、”Name”を任意に入力します。

”Camera Head”では、”Brand”を”Sony”にし、”Model”を”LANC”にします。

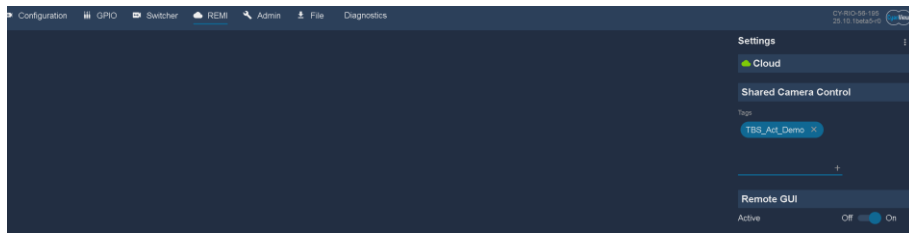
”Interface Port”は、RIO のコネクタポート番号を指定します。FX6 の LANC は、ポート#2 のみ接続可能なため、”RIO-56-195.2”を指定します。

Speed は、”9600”, BiDirectional にチェック、Delay は 0 Type は、”Sony LANC”を設定します。



次に、REMI(CyanView Cloud)への接続設定を行います。

RIO の Web UI 上部”REMI”タブをクリックします。



画面右の設定より、“Tag”項目に、任意の Tag 名を入力し、“+”ボタンを押します。

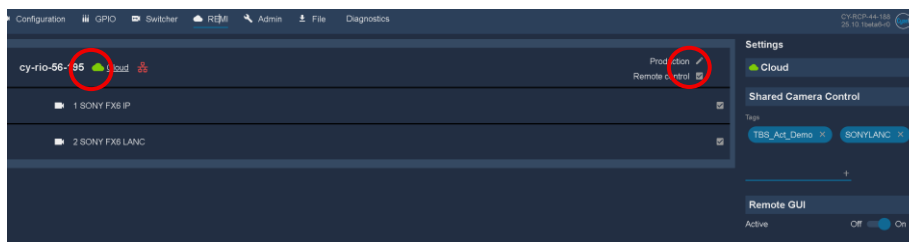
この Tag 名は、REMI 上にて、同じ Tag 名となっている RCP と接続するために使用する重要な設定となります。

RCP 側の Web UI にも同じ“REMI”タブが存在しますので、RIO で設定した Tag 名と同一の名称を入力します。

RCP/RIO どちらも正常にインターネット接続している場合、“Cloud”アイコンが緑色となります。


また RCP 側の“REMI”画面では、RIO で設定した機器情報がリスト表示されます。


正常に接続している場合、RCP 側のクラウドアイコンをクリックすると、RIO の設定画面を遠隔表示することが可能になります。

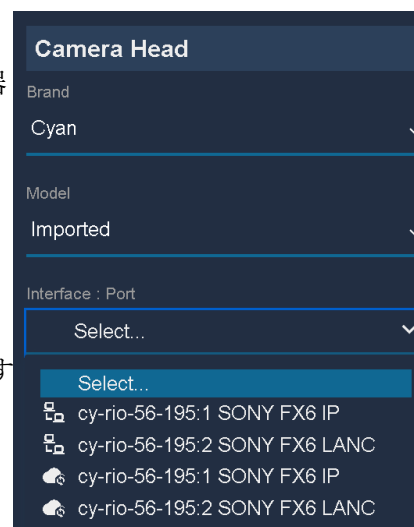


RCP と RIO が正常に REMI 接続できたことを確認した後、RCP へ RIO 経由で接続された機器が表示されます。


同一の名前で、2つリスト表示されます。

REMI 経由での操作では、 アイコン側を選択します。

 は、RCP と RIO を REMI を使用しない同一ネットワーク上で使用する場合に選択します。



以上で、RCP と RIO の基本接続は、完了となります。

RIO 経由の FX6 が正常に接続され、RCP 側から操作可能となった場合には、  
“Camara”グループで、“Cyan Imported”設定した機器の  アイコンが、赤から緑に変わります。